

# サポートルームだより

0110

2026年4月9日 No.1  
町田市立成瀬小学校  
サポートルーム拠点校  
校長 吉成 美紀  
サポートルーム担当

始業式と入学式が終わり2026年度がスタートしました。今年度は高ヶ坂小学校と合わせて89人でのスタートです。教員は7人でのスタートです。うち3人が入れ替わりました。お子さんと関係を作り、良い学びにつなげていきたいと思います。これから、どうぞよろしくをお願いします。

## <2026年度 教職員>



よろしくお願ひいたします。

## 今後の主な予定

- 4月 9日(木) サポートルーム保護者会(高ヶ坂小会場)
- 10日(金) サポートルーム保護者会(成瀬小会場)
- ※在籍校に関わらず、どちらの会場でもご参加いただけます。
- 13日(月)~指導開始(2年生以上)
- 20日(月)~指導開始(1年生)

7月13日(月) 1学期指導終了

## サポートルームで教えていること

サポートルームは、お子さんに良い経験をさせ、これまでの習慣を上書きし、お子さんの行動や考え方をレベルアップさせていくところです。

お子さんは皆「できるようになりたい」「うまくやりたい」と思っています。そう思っても、うまくいかずに失敗が続くと立ち直ることが難しくなります。

「失敗は成功のもと」と言いますが、それは誤りではありません。ただ、失敗をしたとき次にまた頑張ることができればよいのですが、失敗への耐性は人それぞれです。少しの失敗でも、次に頑張ろうとする気持ちが損なわれることがあります。

私たち大人も失敗から学ぶことは多いです。ですが、失敗を恐れながらする仕事よりは、褒められたり、感謝されたり、良い結果が増えたりしながらの方がモチベーションは上がります。サポートルームでは、以下の方法をうまくいくやり方としてお勧めしています。これは、大人にも通じるやり方です。お子さんへの接し方として、まず一つだけでも心がけてみてください。

### 「うまくいくやり方を示す」

例えば、「お箸は、右側に持ち手を向けて置いてね。」「ご飯は、向かって左に置いてね。」のように、先にうまくいくやり方を教えておくとうよいです。並べ終わった後から「ご飯は左に置いてほしかったんだ…」と伝えると、お子さんはやり直しをすることにもなりますし、お子さんの気持ちは、がっかりしやすくなります。

### 「ルールは先に伝える」

例えば「〇〇したから、〇〇禁止ね。」と言うことはありませんか？事前に相談し、合意がとれていればよいのですが、そうでなければ、場当たりのルールとなり、お子さんは混乱することがあります。できれば「〇〇したら、〇〇ができるよ」のように、ポジティブな伝え方ができると、お子さんのモチベーションが上がります。

### 「具体的な指示をする」

例えば「ちょっと待ってね。」とよく言いがちだと思います。これは、どれくらい待てば良いのかが分かりにくい指示です。それよりは「5分間待ってね。」「長い針が3になるまで待ってね。」のように、具体的な指示をするほうがお子さんは見通しをもつことができ、お子さんの安心につながります。数字を使ったり、場所や物の名前を使ったりして指示することが、具体的な指示につながります。

### 「やるべきことを伝える」

例えば「お店で走らないで。」のように、「〇〇しない」と伝えがちではないでしょうか。これは、一見分かりやすいようですが、具体的に何をすればよいのかが伝わりにくいです。「お店の中では、歩くよ。」のように、やるべきことを具体的に伝えると、すぐ「歩いているね。」のようにお子さんを褒めることもできます。「〇〇するよ。」と言い換えるには慣れが必要ですが、これは、とてもおススメの方法です。

このようにサポートルームでは「うまくいく方法」を具体的に示し、お子さんが「できた！」と思えるような経験を積み重ねさせることで、どこでも使えるように指導していきます。何かお困りのことや、ご相談がありましたら、いつでもサポートルームの教員までお知らせください。これから、どうぞよろしくお願ひいたします。